

**問1** 江戸時代後半に老中となった田沼意次は、株仲間の公認や専売制の拡大といった商業重視の政策を推進し、幕府の財政再建を試みました。しかし、この政治体制は当時の民衆から激しい批判を受けることとなりました。その主な理由として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 役人の中で賄賂（わいろ）が公然と行われるようになり、政治の公正さが失われたため
2. キリスト教の布教を全面的に認めたことで、伝統的な幕府の支配秩序が乱れたため
3. 農民に対して極端に厳しい検地を繰り返して、年貢の取り立てを大幅に強化したため
4. 長崎での貿易を完全に禁止し、国内の商業流通を停滞させてしまったため

**問2** 江戸時代中期、長崎での対外貿易において、日本から金や銀が大量に流出することを防ぐために、幕府は決済手段を貴金属から特定の品目へと切り替えました。このとき、長崎会所を通じて清（中国）へ輸出された、いりこ（ナマコを干したもの）や干しあわび、ふかひれなどの海産物の総称を何といいますか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. 俵物
2. 蔵物
3. 問屋物
4. 諸国物

**問3** 江戸時代後期の天保の改革において、水野忠邦が「人返しの法」を発令した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。

（2016年 佐賀公立入試 類似）

1. 江戸に出稼ぎに来ていた農民を強制的に村に帰すことで、農村を復興させ、年貢収入の安定を図った。
2. 江戸の人口が急激に減少したため、都市の治安維持を目的として地方から労働者を呼び寄せた。
3. 新田開発を奨励し、年貢の徴収方法を検見法から定免法に改めることで、幕府の財政を立て直した。
4. 飢饉に備えて各地に「困米」を命じ、米を蓄えさせることで、農民の生活を直接的に保護しようとした。

**問4** 江戸幕府が実施した天保の改革において、水野忠邦が「株仲間の解散」を命じた主な目的と、その結果として生じた状況について述べたものとして、適切なものはどれか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 商人の独占による物価の上昇を抑えようとしたが、商品の流通が滞ってしまい、かえって経済が混乱した。
2. 農村から江戸へ流入した人々が故郷に帰すことで農業を再興し、年貢収入を安定させることに成功した。
3. 長崎での貿易を制限し、国内産の銅の流出を防ぐことで、貨幣制度の安定を図った。
4. キリスト教の取り締まりを強化し、幕府による思想統制を徹底することで、社会不安を取り除いた。

**問5** 江戸時代中期の老中、田沼意次が進めた政治の説明として、正しいものはどれですか。幕府の財政を立て直すために行った、商人の活動に関する方針に着目して選びなさい。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 株仲間を積極的に奨励し、そこから運上金などの税を徴収することで幕府の収入を増やそうとした。
2. 株仲間を解散させることで商品の流通を自由にし、上がっていた物価を強制的に引き下げようとした。
3. 商人の組織を廃止して農村へ帰ることを促し、年貢（米）による収入を増やすことを最優先した。
4. 海外との貿易を完全に禁止し、国内の商人からのみ多額の献金を受け取ることで財政を支えた。

**問6** 江戸幕府が、全国の大名を統制するために城の無断修理や許可のない婚姻を禁じる目的で制定した法令と、朝廷や公家を監視するために京都に設置した役職の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 「武家諸法度」と「京都所司代」
2. 「御成敗式目」と「六波羅探題」
3. 「公事方御定書」と「町奉行」
4. 「武家諸法度」と「問注所」

**問7** 江戸時代の浮世絵師とその作品や特徴の組み合わせとして、歴史的事実と合致するものはどれですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 葛飾北斎は、幾何学的な構図を用いた『富嶽三十六景』を描き、西洋の芸術家にも影響を与えた。
2. 喜多川歌麿は、東海道の宿場町を情緒豊かに描いた『東海道五十三次』で人気を博した。
3. 狩野永徳は、江戸時代後期の庶民の姿を写實的に描いた浮世絵を数多く残した。
4. 歌川広重は、当時の人気歌舞伎役者をクローズアップして描いた大首絵を得意とした。

**問8** 秋田藩の鉱山で生産された銅が、わざわざ大阪を経由して長崎まで運ばれた理由として、当時の貿易制度と物流の仕組みの観点から最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。
2. 大阪に貨幣を鋳造する「銀座」が設置されており、全ての銅を貨幣に変える必要があったため。
3. 長崎は朝鮮との外交窓口であり、銅は朝鮮通信使への贈り物として扱われたため。
4. 大阪は全国の年貢米が集まる場所であり、銅を米と交換して輸出する仕組みだったため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 役人の中で賄賂（わいろ）が公然と行われるようになり、政治の公正さが失われたため	田沼意次は、商人の経済力を利用して運上金や冥加金を取るなど、商業重視の政策で幕府の財政を潤そうとしました。しかし、利益を優先する姿勢が強まったことで、便宜を図ってもらおうとする商人らと役人の中で「賄賂（わいろ）」が横行するようになり、金銭が政治を左右する状況が生まれました。これが「汚れた政治」として、武士や民衆からの強い不満や批判を招く原因となりました。
問2	<b>答え 1</b> 俵物	江戸時代、長崎貿易による金・銀の海外流出が大きな経済課題となりました。これを受け幕府は、金銀の代わりに、当時の中華料理の食材として清で需要が高かった海産物を加工して輸出する仕組みを整えました。これらは藁の俵に詰められて輸送されたことから「俵物」と呼ばれます。長崎会所がこれを取りまとめ、対外貿易の独占と管理を行いました。
問3	<b>答え 1</b> 江戸に出稼ぎに来ていた農民を強制的に村に帰すことで、農村を復興させ、年貢収入の安定を図った。	天保の改革が行われた時期は、天保の飢饉などによって農村が荒廃し、多くの農民が職を求めて江戸へ流入していました。幕府の財政基盤は農民が納める年貢であったため、水野忠邦は農村の労働力を確保し、生産力を回復させることで、不安定になっていた年貢収入を再び安定させることを狙いました。松平定信が寛政の改革で行った「旧里帰農令」が帰郷を奨励するものであったのに対し、人返しの方は強制的に帰村させるという厳しい内容でした。
問4	<b>答え 1</b> 商人の独占による物価の上昇を抑えようとしたが、商品の流通が滞ってしまい、かえって経済が混乱した。	水野忠邦は、都市部での物価高騰を解消するために、流通を独占していた「株仲間」が価格を吊り上げていると考え、その解散を命じました。しかし、これによってこれまでの流通ルートが崩壊し、かえって物不足や経済の混乱を招く結果となりました。この政策は、人返し令による農村復興策や極端な倹約令とともに、民衆や武士からも強い不満を抱かれる原因となりました。
問5	<b>答え 1</b> 株仲間を積極的に奨励し、そこから運上金などの税を徴収することで幕府の収入を増やそうとした。	田沼意次は、それまでの年貢（米）に頼る財政から、商業の発展を利用した財政への転換を図りました。商人の同業者組織である株仲間を公認して独占的な営業権を与える代わりに、運上金や冥加金といった税を納めさせ、幕府の税収入を増やそうとしたのが特徴です。後の松平定信や水野忠邦が物価抑制のために株仲間の制限や解散を行ったことと比較して理解することが重要です。
問6	<b>答え 1</b> 「武家諸法度」と「京都所司代」	江戸幕府は1615年に大名を統制するための基本法として「武家諸法度」を定め、城の無断修理や許可のない大名同士の婚姻を厳しく制限しました。これと同時に、天皇や公家を監視し、京都の治安維持や西国大名の監視を行うための重要な役職として「京都所司代」を設置しました。選択肢にある六波羅探題は鎌倉時代に設置された役職であり、問注所は鎌倉時代の裁判機関を指します。
問7	<b>答え 1</b> 葛飾北斎は、幾何学的な構図を用いた『富嶽三十六景』を描き、西洋の芸術家にも影響を与えた。	葛飾北斎の作品は、遠近法や鮮やかなベネチアンブルー（ベロ藍）の使用、緻密かつ大胆な構図が特徴で、幕末から明治にかけて海外へ渡り、ゴッホなどの印象派の画家に大きな影響を与えました。なお、東海道五十三次は歌川広重、美人画は喜多川歌麿の代表的な仕事であり、狩野永徳は安土桃山時代に活躍した屏風画の絵師です。
問8	<b>答え 1</b> 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。	江戸幕府は対外貿易を厳格に管理しており、清（中国）やオランダとの取引は長崎の1港に限定されていました。そのため、全国各地の鉱山で採掘された銅は、当時「天下の台所」として物流の中心地であり精錬技術も発展していた大阪に一度集められ、そこから輸出港である長崎へと船で運ばれる体制が整えられていました。